



第 1365 回例会報告

平成26年5月22日(木)晴

会長挨拶

会長 平山隆勇

5月22日

福岡で開催されている学会に参加するため、今日出発することになっており、その準備もあって、いつもは前日までに終わっている会長挨拶の準備ができていませんでした。昨夜 10 時過ぎに考え始めたのですが、なかなか思い浮かびません。苦し紛れに 5 月 22 日は何の日かと調べてみると、アーサー・コナン・ドイルという方が 1859 年の 5 月 22 日に生まれていました。彼の名前を知らない人でも、シャーロック・ホームズなら知っていると思います。アーサー・コナン・ドイルはイギリスの作家で、シャーロック・ホームズという名探偵を主人公とする小説を世に出しました。この主人公は原幹事の大好きな 007 のジェームズボンドと並んで、世界中で知られたイギリス生まれの架空のヒーローです。シャーロック・ホームズは天才的な観察眼と推理力を持ち、次々に難しい事件を解決していくの

ですが、その小説は全部で 60 篇(長編 4 篇、短編 56 篇)あります。

面白いことに、作者であるコナン・ドイルの職業は医師であったのですが、開業しても患者さんが余り来てくれず、暇をもてあまして間に小説を書くようになったのだそうです。彼はその後眼科医に転身しようとしたのですが失敗し、とうとう副業としていた執筆業一本に絞り大成功を収めたのです。人生は何が幸いするか分からないもので、彼のところに患者さんがいっぱい来ていたら、シャーロック・ホームズは生まれなかったでしょう。100 年以上経った今でも、シャーロック・ホームズは小説だけでなく、映画やテレビでも大活躍しています。

そしてもう一つ、5 月 22 日はガールスカウトの日です。第二次世界大戦で解散せざるを得なかった日本のガールスカウトでしたが、1947(昭和 22)年のこの日にガールスカウトを再興するための準備委員会が発足したのです。私達諏訪湖 RC の奉仕活動にも参加していただいているガールスカウトですが、日本のロータリーの歴史と同様、戦争

■出席報告

会員数	37名
出席対象	36名
出席者数	26名
出席率	72.2%
前回修正	80.6%

■ニコニコBOX

21名	25,000円
累計	1,084,000円
目標額	130万円
達成率	83.4%

■今週のこぼれ

先日は結婚祝いありがとうございました。おかげ様で二人とも元気に暮らしています
尾上正弘

明日、長野県と長野県保護司会連合会とで保護観察中の少年の就労支援について県知事応接間で行われる協定書の調印式に臨みます

更生保護活動について、国も県も財界も政界も大きく理解してくれるようになりました。ありがとうございました。

小林聖仁



2013-2014 年度 国際ロータリーテーマ
ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

Engage Rotary, Change Lives

ウィークリーの原稿送付先は PR@suwakorc.net です

の影響を大きく受けていたのです。ガールスカウト日本連盟が結成されたのは、それから2年後のことだったそうです。以上本日の例会日、5月22日にまつわるお話をさせて頂きました。

第 1365 回例会

2600 地区 2014-15 年度 地区国際奉仕事業について

2600 地区国際奉仕委員会
委員長 渡邊 芳紀



例年4月に開催される地区協議会ですが、地区内各クラブのそれぞれの委員長さんにそれぞれの委員会の任務等を再確認の意味合いを含めて、今年度から「地区研修・協議会」となりました。

I. 国際奉仕とは

さて国際社会奉仕活動の喜びは奉仕したさきで絶大な感謝を受けれることです。RI では次のように言っています。

WCS 活動の恩恵は、援助される側の人々だけではなく、活動に参加した私達ロータリアンも受けることを実感して下さい。

私達の活動によって助けられた人々と喜びを目の当たりにする時、私達奉仕を实践したロータリアンも大きな喜びを手に入れる事ができます。さらに国際理解や親睦を一層深めていく事ができるのです。

奉仕の相手だけではなく、奉仕をした自分も満たされるのが、真の奉仕です。

是非、みなさんご都合をつけて国際社会奉仕事業に参加してその喜びを実感してください。

さて、国際奉仕とはロータリーの目的「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」を基に「人道的な活動を広げ、世界理解と平和を推進する活動をする。」

そして

1. 世界社会奉仕活動
2. 国際レベルの教育及び文化活動
 - ① ロータリー友情交換
 - ② 世界ネットワーク活動グループ
 - ③ 国際青少年交換
3. 特別月間と催し
4. 国際的な会合
5. 海外姉妹クラブとの国際交流等々の活動を明示しています。

1. の世界社会奉仕活動とは「国や行政が地域社会のニーズを満たせない発展途上国や開発途上国で、ロータリークラブも資金の制約等で奉仕活動が実践できない場合に、援助を海外の地区やクラブに求め、協力して奉仕活動を行うの」というものです。

世界社会奉仕活動の要件として

- ① プロジェクトが人道的奉仕活動であること
- ② 2カ国以上のロータリアンが関与すること
- ③ プロジェクトはこのうちいずれか1カ国で実施されること等があります。

【人道的支援】とは「人間性を重んじ、人間愛を実践し、併せて人類の福祉向上を目指す支援」

で、具体的には「食えることができる」「病気がなおせる」「学校に行ける」という事ではないかと考えています。

(次週は2014-15事業計画について)

